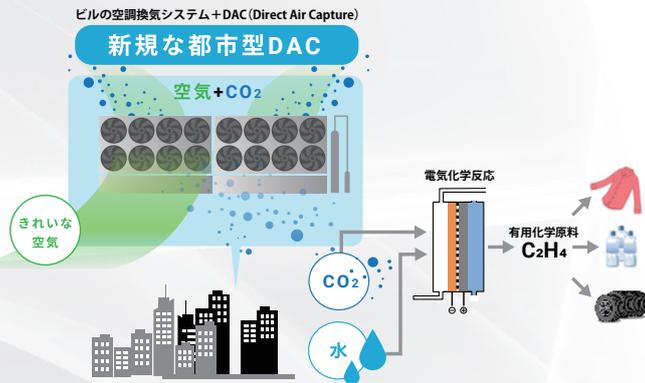


CO₂大量資源化システム用 電解還元技術

Electrochemical Reduction Technology
for Scalable CO₂ Conversion to Chemical Feedstocks

「ビルをまちの空気清浄器に」

「新規な都市型DAC (Direct Air Capture) + 電気化学リアクター」システム
～CO₂排出1億トン/年削減@2050に向けて～



本発表の成果の一部は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の委託業務 (JPNP18016) の結果得られたものです。

用途

- ・ CO₂資源化
- ・ カーボンリサイクル

特長

- ・ CO₂を化成品原料へ変換する画期的なシステム
- ・ カーボンネガティブを可能とするシステム

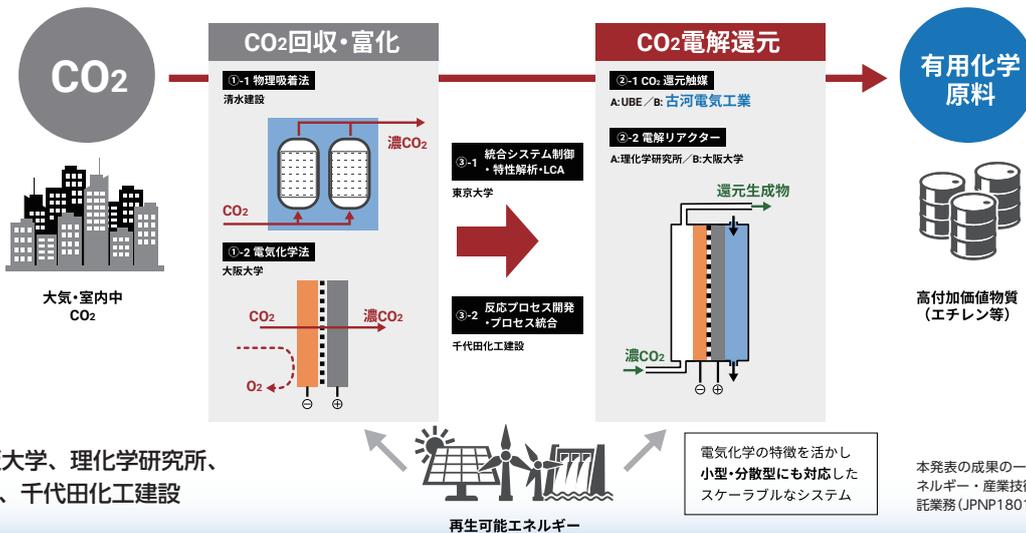
お客様にとってのうれしさ

- ・ CO₂削減に貢献

実現手段

大気中に放散された希薄なCO₂を物理/化学的手法にて回収・富化し、再生可能エネルギーを駆動力とする電気化学プロセスにより還元資源化する統合システムを開発します。大気中のCO₂を対象とし、電気化学プロセスの特長を活かして小規模分散配置が可能なフレキシブルかつスケラブルなシステムを確立します。

NEDOムーンショット型研究開発プロジェクト「電気化学プロセスを主体とする革新的CO₂大量資源化システムの開発」に参画し、希薄な濃度に対応可能なCO₂回収・資源化プロセス確立に向けた技術開発と実用化の取り組みを進めています。



共同実施者：
東京大学、大阪大学、理化学研究所、
清水建設、UBE、千代田化工建設

文献情報 日本語 https://www.furukawa.co.jp/release/2020/kenkai_20200909.html
<https://www.innovation-riken.jp/moonshotpj00/>

英語 https://www.innovation-riken.jp/moonshotPJ00_en/